



新しい景色が見られるように！

校長 石踊 晴元

師走に入ると同時に真冬の気候に変わりました。先日は初霜が降り、冷え込んだ朝を迎えました。いよいよ本格的な冬が到来しました。

先日、京都清水寺の森清範貫主が揮毫した「今年の漢字」は、「戦」でした。ロシアによるウクライナ侵攻、北朝鮮の相次ぐミサイル発射、サッカーW杯や北京冬季五輪での熱戦、野球界での記録への挑戦等から、「戦」が1位になったそうです。

村上選手の日本人最多本塁打や佐々木投手の最年少完全試合も記憶に残っていると思いますが、サッカーW杯での日本チームのゲームも感動し、記憶にも鮮明に残っていると思います。

本校でも、2学期を振り返り漢字一文字で表すと、「戦」になりそうです。9月の大運動会では、紅白に分かれて熱戦を繰り広げました。10月の陸上記録会では練習の成果を発揮し、他校との接戦を制して全員がそれぞれの種目で入賞しました。11月の町音楽会やわくわくふれあいフェスティバルでは、合唱や合奏、暗唱や神舞に挑戦し素晴らしい発表ができました。12月の持久走大会では、自分の弱い心と戦いながら自己新記録を目指して完走しました。他にも、「全校読書まつり」や「ずっと友だち集会」「避難訓練」等の学習活動を通して、多くのことを学びました。これからも様々な活動に取り組み、自分の知識や技術、可能性等を伸ばしてほしいと思います。

森保監督の名言『ベスト8という新しい景色は見られませんが、選手たちは新しい景色を見せてくれました。』は今でも私の胸に響いています。

本校の校庭も、1階・2階から見る景色、各教室から見る景色は異なります。練習の積み重ねや、経験・知識、技術の蓄積によって、考え方や視点が広がります。本校の子供たちも、これまでと違った景色が見られるように心身ともに健康で「生きる力」を身に付けた視野の広い人間に成長してほしいと願っています。



【1階家庭科室から見た校庭】



【2階視聴覚室から見た校庭】



収穫したさつまいもで料理教室！

さつまいも栽培学習のまとめになる「さつまいも料理教室」を開催しました。今年も錦江町食生活改善推進員連絡協議会から講師をお招きし、11月25日（金）には1年生から4年生の子供たちが「さつまいもムース」と「さつまいものツナマヨサラダ」を調理しました。12月16日（金）には5・6年生が「さつまいもムース」と「がね」を調理しました。

5・6年生は、家庭科の学習経験を生かし、食材を細かく切ったり、油で揚げたりして、おいしい「がね」を作りました。味付けも揚げ加減も絶妙で、私たちもおいしくいただきました。

さつまいも栽培学習は、「いも苗植え→草取り→芋掘り→いも販売→調理」の流れになっています。本年度は、食生活改善推進員連絡協議会から「いも料理3品」と「和洋中スープだし」のレシピをいただきましたので、御家庭にもお配りします。御家庭での親子クッキングにお役立てください。食生活改善推進員連絡協議会の皆様、ありがとうございました。

今年も教育活動、PTA活動に御理解・御協力を賜り誠にありがとうございました。衷心より御礼申し上げます。皆様、健康に留意され、よいお年をお迎えください。

